

城山大学 50周年記念

50年あゆみ

～人とつながり、心身ともに健康で
暮らし続ける生活をめざして～



浜田市社会福祉協議会

浜田市市民憲章

(平成十八年十月一日制定)

わたくしたちは、青い海と緑の大地に恵まれた美しい自然と温かい人情を誇る浜田市民です
明るく豊なまちをつくるために
この憲章を定め 力をあわせて進みます

- 一 きまりを守り 良い習慣を育て
きれいな住みよいまちをつくります
- 一 心身の健康に心がけ 明るい家庭を築き
ゆとりのあるまちをつくります
- 一 働く喜びと誇りをもち
活力のあるまちをつくります
- 一 郷土を愛し 教養を高め
文化のかおるまちをつくります
- 一 高齢者をうやまい こどもをはぐくみ
みんなが助け合うまちをつくります
- 一 命の大切さを深く考え
お互いを尊重するまちをつくります

浜田市高齢者憲章

(平成二十年三月二十一日制定)

わたくしたちは、浜田市民であることを誇り
とし、美しい自然に恵まれたこのまちで、自立
の心をもち、主体的な役割を担い、いきいきと
暮らしていくことをめざして、この憲章を定め
ます

- 一 生涯を通じて、心身の健康づくり
につとめます
- 一 みずから知識し経験を活かし、
すすんで社会活動に参加します
- 一 ふるさとの伝統文化を守り伝える
まちづくりをすすめます
- 一 互いに支えあい、人情あふれる
地域づくりをすすめます
- 一 生きがいをもち、心豊かな人生を
はぐくみます

★ もくじ ★

○ ごあいさつ 浜田市社会福祉協議会 会長 城山大学 学長 大谷 克雄 1
○ 浜田市長 城山大学 名誉学長 久保田章市 2
○ 沿革のあらまし 3
○ 『城山大学 50 年のあゆみ』 4
○ 城山大学主な行事（城山学級含む）及び年表 昭和 45 年度～昭和 63 年度 平成元年度～平成 30 年度 令和元年度～令和 2 年度 6 15 27
○ 浜田市人口等の流れ 29
○ 城山大学歴代名誉学長名及び学長名 30

ごあいさつ

しろやま だいがく 城山大学 「50 年のあゆみ」発刊に寄せて

高齢者の生涯学習の場として開設された「城山大学」は、浜田城山（殿町）の麓に建設された旧老人福祉センター（昭和44年5月竣工）において、昭和45年6月に開講して以来50周年を迎え、このたび半世紀にわたる歴史を刻む記念誌を発刊する運びとなりました。

この大学は、浜田市の委託事業として社会福祉協議会が運営し、歴代浜田市長が名誉学長、社協会長が学長を務め、現在も総合福祉センター（野原町）で継続しています。

当時の記録によると、第1期は(故)宇津重明市長による「70年代における浜田市勢の展望」と題した講演を皮切りに、年間10回の講座に総勢372名の受講者があり、翌年3月には旧浜田市民会館で終了式が挙行され、年間6回以上出席した101名に修了証書が授与されています。

講義内容も、政治、経済、時事問題、修養、生活、健康管理、郷土史など幅広い分野に及び、受講者が会場を埋め尽くすほどの盛況ぶりが報じられており、生涯学習推進の礎を築いてこられました歴代講師の方々に、衷心より敬意と感謝の意を表する次第であります

今後も、市民憲章（平成18年10月1日制定）の一節に謳われている『郷土を愛し、教養を高め、文化の薫るまちづくり』を目指し、誰もが遠慮なく、気軽に集える、魅力あふれる学び舎となるよう努めてまいります。

結びに、コロナ禍での感染防止対策を徹底し、安心して受講できる環境整備に努めてまいりますので、多くの皆様にご参加をいただきますようお願い申し上げ卷頭の言葉といたします。

浜田市社会福祉協議会 大 谷 克 雄
(自 平成26年4月～至 令和3年6月 会長)

ご 祝 詞

このたび城山大学が開講 50 周年を迎えたことに心よりお慶びを申し上げます。

城山大学におかれましては、高齢者の生涯学習の場として、これまで多岐にわたり学習会や教養講座を開催し精力的に活動してこられました。今日まで意欲的に学んでこられました受講生の皆様、丁寧にご指導された講師の方々、そして開講当初からこの講座を提供してこられました浜田市社会福祉協議会様に深く敬意を表するものであります。

さて、日本では高齢化が急速に進んでおり浜田市においても 3 人に 1 人が高齢者という状況にある中、生涯現役で社会と積極的に関わることで自分らしく自立したライフスタイルを確立することは大変重要であると考えます。また、城山大学で学びを深め、自らの知識や経験を活かしながら社会活動に参加されることは、心豊かで健康的なまちづくりにつながるものであります。この学びにより地域社会において主体的な役割を担われ、生涯現役の実践者として大いに活躍されることを期待するところであります。

本市としましても、総合振興計画に掲げる将来像、「住みたい住んでよかったです魅力いっぱい元気な浜田」実現に向け、健康でいきいきと暮らせるまちづくりをすすめてまいりたいと存じますので、ご協力を賜りますようお願いいたします。

終わりにこの 50 周年を機に更なる飛躍と皆様のますますのご繁栄を記念してお祝いのご挨拶とさせていただきます。

浜田市長 久保田 章市

沿革のあらまし

- 昭和 26 年 9 月 11 日 浜田市社会福祉協議会任意団体発足
- 昭和 39 年 7 月 7 日 社会福祉法人設立認可
- 昭和 44 年 5 月 30 日 浜田市老人福祉センター竣工、社協事務局市役所より移転
(浜田市殿町 83 番地 123)
- 昭和 44 年 6 月 1 日 浜田市老人福祉センター設置
- 昭和 44 年 8 月 12 日 浜田市老人福祉センター管理運営に関する規程制定
- 昭和 45 年 4 月 1 日 浜田市老人福祉センター事業運営受託
大学院講座開設 (6 月城山大学と名称変更)
- 昭和 45 年 6 月 29 日 第 1 回城山大学 (老人講座) 開講
- 昭和 46 年 5 月 城山学級開設・開講
- 昭和 55 年 3 月 7 日 総合福祉センター建設準備委員会規則制定
- 昭和 58 年 7 月 23 日 山陰豪雨により裏山崩壊、土砂流入、建物破損使用不能
- 昭和 58 年 12 月 20 日 浜田市老人福祉センター復旧
- 平成 5 年 3 月 26 日 総合福祉センター (仮称) 建設基本構想計画案による協議
- 平成 6 年 7 月 25 日 総合福祉センター平成 7 年度完成をめどに相互準備
- 平成 8 年 4 月 1 日 浜田市総合福祉センター竣工、社協移転
(浜田市野原町 859 番地 1)
(老人福祉センター機能を生かした設備 : 2 階)
- 平成 17 年 9 月 30 日 浜田市合併に伴い、新浜田市社会福祉協議会発足
(1 市 4 町村社協合併)
引き続き、浜田市総合福祉センター事業運営受託
(浜田市老人福祉センター事業含む)
- 令和 3 年 3 月 31 日 現在に至る

『城山大学』50年あゆみ

平成17年9月30日に、それまでの浜田市、金城町、旭町、弥栄村及び三隅町の各社会福祉協議会が合併して、新しい浜田市社会福祉協議会が発足しました。

合併する前の旧浜田市社会福祉協議会は、昭和39年7月7日、社会福祉法人として設立しております。

現在、浜田市から指定管理運営を受託している浜田市総合福祉センターですが、移転前は、浜田市老人福祉センターとして、健康増進、地域社会との交流を図り、老人クラブの充実・育成等の全般に亘る相談指導、或いは機能回復訓練及び教養の向上、娯楽等のために便宜を供与する目的で、昭和44年5月30日に鉄筋コンクリート造二階建ての建物が、閑かな城山公園のふもと浜田市殿町83番地123に建設されました。そして同年8月12日、浜田市社会福祉協議会に委託され運営委員会を設置し運営に当たることとなりました。

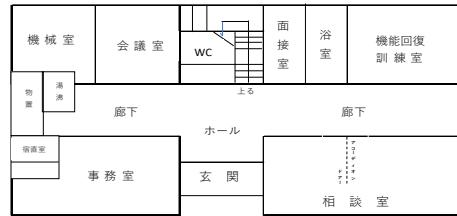
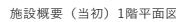
当時、浜田市老人福祉センター事業の一つ、大学院講座（6月城山大学と名称を変える）は、老人の自己完成を目指す学習活動の充実を図るために生涯に亘る人格の陶冶と新しい時代の適応、或いは世代間の交流に資する学習、趣味の向上等のために昭和45年4月に開設され、名誉学長には浜田市長が、学長には浜田市社会福祉協議会会长が務められることとなりました。また、昭和46年5月には“おとしよりの趣味の教室”として「城山学級俳句教室」も開設されました。

平成8年4月には、浜田市総合福祉センター建設（浜田市野原町859番地1）により、社協事務所も移転、老人福祉センターを生かした設備となりました。

そして歴史とともに年号の改元もあり、令和2年、城山大学も50周年を迎え、教室も受講生の意向を取り入れながら様々に変容してきました。高齢者の表現も歴史とともに“おとしより・老人”から“高齢者”へ、そして“前期高齢者・後期高齢者（WHO）”と変化し、超高齢化社会へ突入しようとしている現状の中、生きがいをもって日常生活を送られる方々が増え、参加される方々の年齢も高くなっています。健康で、生きがいを持ち、地域や家族、趣味を同じくする仲間と関わりながら元気に自分らしく過ごせるような場の提供が出来るよう今後も努めてまいります。

昭和 44 年 6 月

浜田市老人福祉センター設置

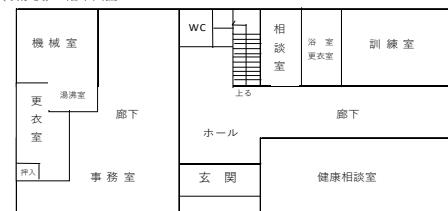


2階平面図

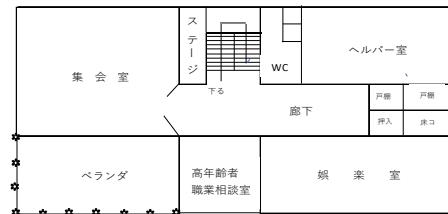


昭和 58 年 12 月

浜田市老人福祉センター改修（復旧）

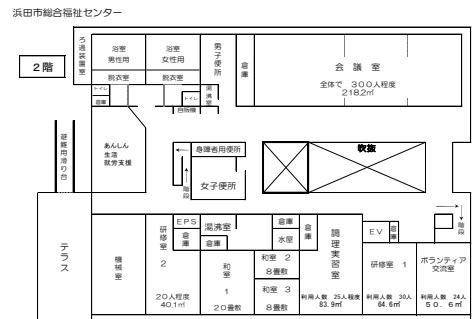
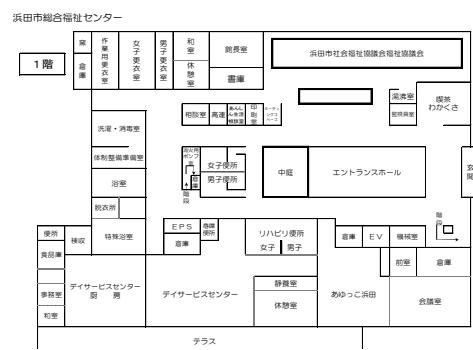


2階平面図



令和3年3月

浜田市総合福祉センターの現在



昭和 45 年城山大学講座開講

老人講座 第1回 城山大学

第1回 開講(昭和 45 年 6 月 29 日)

「 70 年代における浜田市勢の展望」 浜田市長 宇津重明 氏



城山大学開講（昭和 45 年 6 月）

名誉学長

浜田市長

宇津 重明

学 長

浜田市社会福祉協議会会长

山崎 慧

この年、10 回の講座を開き、372 名の方が受講され、このうち 6 回以上出席された 101 名の方に終了証書を名誉学長 宇津市長から贈られました。

また、皆勤された 33 名の方に皆勤賞が贈られました。



昭和 46 年度

「70年代の老人福祉」

全国民児協副会長 島根県民児協会長 高橋重聰 氏



すべての人びとが自らの問題として
老後の関心と理解を深めましょう。

* 地域ぐるみで老人福祉

* 家庭での老人福祉

* 美わしい老人に

9月といえば、ひと昔前までは、
9月15日が敬老の日でした。

現在は、9月第3月曜日が敬老
の日に!

城山学級 第1回目は
俳句教室として昭和46年5月21日に開講されました。

題詠は「若葉」「鯉のぼり」

現在と同様、広報機関紙「しろやま」で開催のお知らせをしていました。

そしてその年、9月には謡曲教室も始まりました。

昭和 47 年度

「昭和47年の市政について」 浜田市長 梨田 精 氏

昭和48年6月からは盆栽教室、昭和49年7月からは
楽焼教室も始まりました。



昭和 45 年度～昭和 49 年度 城山大学 講座一覧

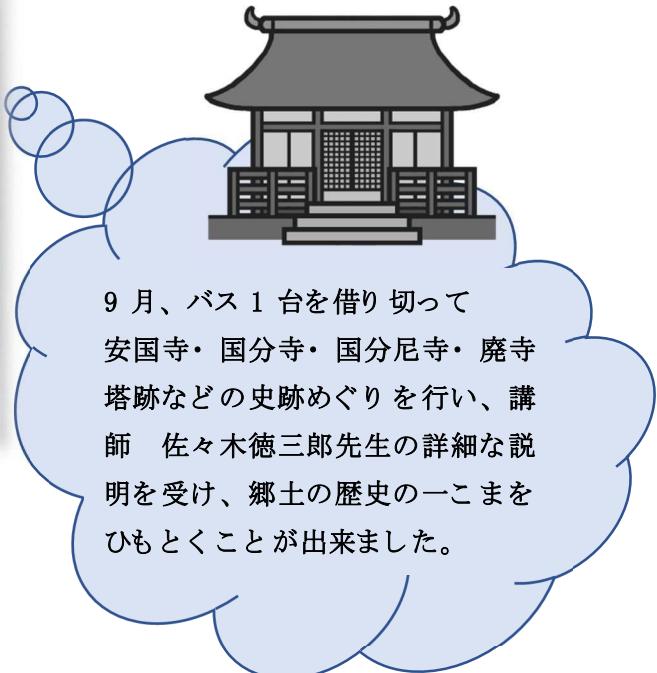
※ 講師の敬称は省略させていただいておりますこと、ご了承願います。

上段:演題 下段:講師

年度 月	昭和 45 年度	昭和 46 年度	昭和 47 年度	昭和 48 年度	昭和 49 年度
4 月					
5 月					
6 月	70 年代における浜田市勢の展望 浜田市長 宇津 重明	70 年代の老人福祉 全国民児協副会長 高橋 重聰	昭和 47 年の市政について 浜田市長 梨田 精	薬のいらない健康法 健康医学研究所長 漆谷 権一	中国訪問の旅を終えて 浜田市長 梨田 精
7 月	生と死の関頭に立って 江の川短大教授 源 哲勝	生きるよろこび 浜田市社協副会長 本田 行晴	美しき老人像 県母子会連合会長 宮脇 正子	人生と仕事 西福寺住職 岡村 俊道	老人の栄養管理について 浜田保健所主査 神崎 トモエ
8 月	老人の健康管理 国立浜田病院長 天野 寿	老人の機能回復訓練 県立中央病院 錦織 清	老人の生きがい 山口大学教授 山本 陽三	浜田の文化財 桑原 韶一	老人の生きがいについて 三・七・八クラブ 渡辺 岩雄
9 月	浜田の今昔 浜田護国神社宮司 山根 俊久	転機に立つ日本の経済、外交 島根新聞論説主幹 中本 辰夫	自身とのたたかい 益田女子高校講師 馬場 恭真	変わりゆく郷土と暮らし 北条 真	狂言に見る笑いと人情 国府地区社協会長 薮田 安
10 月	美しい老人像 豊川保育園長 藤沢 正範	老人の健康と食生活 浜田保健所栄養士 横田 伊尼	魅力ある老人 県婦人相談員・保護司 岩田 アサオ	鯉の飼い方 佐々木 定重	スペインあれこれ 神田 和子
11 月	藩政以後の浜田 浜田護国神社宮司 山根 俊久	棚倉移封と竹島事件 国府中学校教諭 桑原 韶一	老人の健康と食生活 浜田保健所栄養士 横田 伊尼	やさしい法律と知識 松江地方裁判所浜田支部 裁判官 下江一成	休講
12 月	俳句の味合い方作り方 ホトトギス同人 荒木 嵐子	最近における地震学の動向 浜田測候所長 中村 春男	冬の老生活 浜田保健所長 尾原 一平	所 蔵 資 料 が な い た め 不 明	大森銀山(其の二) 浜田護国神社宮司 山根 俊久
1 月	冬の老人生活 浜田保健所長 尾原 一平	楽しい老人生活に 県レクリエーション協会 副会長 光田 功	新しい年の政局 島根新聞論説主幹 中本 辰夫		食品環境公害について 浜田保健所長 尾原 一平
2 月	老人の機能回復訓練 県立中央病院 錦織 清	日本の気象と天気図の見方 浜田測候所長 中村 春男	東南アジア、印度を巡りて 光西寺住職 縦川 聖士		裏を大切にする心 上府八幡宮宮司 牛尾 重文
3 月	70 年代における日本経済の展望 島根新聞論説主幹 中本 辰夫	米、中接近をめぐって 島根新聞論説主幹 中本 辰夫	薬のいらない健康法 健康医学研究所長 漆谷 権一		お茶と容れものと 善福寺住職 福郷 宗悦

昭和 52 年度

「国府史跡めぐり」 浜田市文化財審議会委員 佐々木徳三郎 氏



昭和 53 年度

昭和 53 年度の城山学級は
盆栽教室から園芸教室にかわり、またレクリエーション教室
が新たに始まり、書道教室・ちぎり絵教室の4教室で活動とな
りました。

昭和 54 年度

昭和 54 年度の城山学級は
書道教室・園芸教室・ちぎり絵教室・茶道教室・
軽運動と民謡踊り教室
と皆さんの要望にそって実施していきました。



昭和 50 年度～昭和 54 年度 城山大学 講座一覧

※ 講師の敬称は省略させていただいておりますこと、ご了承願います。

上段:演題

下段:講師

年度 月	昭和 50 年度	昭和 51 年度	昭和 52 年度	昭和 53 年度	昭和 54 年度
4 月					
5 月					
6 月	浄瑠璃に見る倫理觀と現代 国府地区社協会長 薮田 安	市政について 浜田市長 梨田 精	200 海哩と浜田の魚 松田漁業 KK 常務 森福 忠友	浜田藩物語 第一話 浜田市文化財審議会委員 佐々木 徳三郎	浜田藩物語農民のくらし 佐々木 徳三郎
7 月	ヨーロッパの青少年事情 益田妙雲寺住職 本田 行典	謡曲に見る懐古 趣味と功徳説法 国府地区社協会長 薮田 安	老人と性 浜田市老人クラブ連合会会長 渡辺 岩雄	ブラジルの現状 県議会議員 石田 浩造	中国紀行 極楽寺住職 本田 行晴
8 月	老人の健康管理について 浜田保健所主査 神崎 トモエ	人間、この未知なるもの 1 を尋ねて 7 に及ぶ 中央公民館長 川上 理量	書と心 五風会代表 喜代吉 郊人	浜田藩物語 第二話 浜田市文化財審議会委員 佐々木 徳三郎	浜田の文化財 浜田市文化財愛護会 会長 薮田 安
9 月	家庭教育における老人の役割 浜田市社会教育指導員 木村 巍	老人の健康について 浜田保健所 神崎 トモエ	国府史跡めぐり 浜田市文化財審議会委員 佐々木徳三郎	北朝鮮の実状 市議会議員 山崎 亮	旧市内史跡めぐり 佐々木 徳三郎
10 月	刀剣の由来について 浜田市文化財審議員 麻生 福人	浜田ダムと浜田 淨苑の視察	お年寄りの健康 について 浜田保健所主幹 神崎 トモエ	西部の史跡めぐり 浜田市文化財審議会委員 佐々木 徳三郎	休講
11 月	休講	休講	休講	浜田藩物語 第三話 浜田市文化財審議会委員 佐々木 徳三郎	身近な経済問題 公認会計士 牛尾 公介
12 月	冬期における健康について 浜田保健所長 尾原 一平	自己診断と健康法 健康医学研究所長 漆谷 権一	浜田の歴史と浜田人気質 浜田市文化財審議会委員 山藤 忠	妙好人 有福の善太郎 光現寺住職 菅 義鳳	長生きについて 花田医院 花田 カズ
1 月	アメリカの老人事情 保護司 森福 忠友	死を見つめて 浜田市老連副会長 渡辺 岩雄	経済のあれこれ 浜田市商工会議所専務理事 橋ヶ迫 実	お年寄りの健康について 浜田保健所長 尾原 一平	静かな和 善福寺住職 福郷 宗悦
2 月	心のふるさと 浜田市社協副会長 本田 行晴	相談の窓口から 見た世想 浜田市心配事相談員 八杉 節	相談の窓口から 心配ごと相談員 八杉 節	激動から安定への模索 山陰中央新報社論説委員 定方 一義	高齢者社会にどう 対処したらよいか 松村眼科医院 松村 寿夫
3 月	浜田市経済のあれこれ 浜田市商工会議所専務理事 橋ヶ迫 実	美しく老いる 元浜田市教育委員 岩田 アサオ	生きると言うこと 真光寺住職 大原 義峯	業について 極楽寺住職 本田 行晴	美しく老いる 県社会教育講師 岩田 アサオ

昭和 56 年度

「このごろ考えること」 前市立公民館長 木村 巖 氏



昭和 56 年度の城山学級は
書道教室・園芸教室・ちぎり絵教室・
陶芸教室～かるた教室～軽運動と民謡踊り教室



昭和 57 年度



「正しい電話の扱い方」 浜田電報電話局自動運用課長 下山 哲司 氏

正しい電話の使い方ってどんな話だったのでしょう？

公衆電話にテレホンカードが使われるようになつたのもこの頃のようです

テレホン
カード

昭和 57 年度より、軽運動と民謡踊り教室は
民謡踊り教室に教室名を変更しました。



昭和 59 年度

「昭和 59 年度施政方針について」 浜田市長 大谷 久満

昭和 55 年度～昭和 59 年度 城山大学 講座一覧

※ 講師の敬称は省略させていただいておりますこと、ご了承願います。

上段:演題

下段:講師

年度 月	昭和 55 年度	昭和 56 年度	昭和 57 年度	昭和 58 年度	昭和 59 年度
4 月		このごろ考えること	昭和 57 年度市政方針について	昭和 58 年度市政方針について	映画鑑賞
		前市立公民館長 木村 嶽	浜田市長 梨田 精	浜田市長 梨田 精	
5 月		躍進する石央浜田を語る	老人と健康	交通安全対話集会	益田万葉公園見学
		浜田市長 梨田 精	浜田市ゲートボール協会会长 河野 嘉平治	浜田警察署交通課課長 小村 定雄	柿本神社宮司 中島 匡英
6 月	浜田市政について	老人保健法を考える	婦人問題あれこれ	教育の荒廃を救う者	昭和 59 年度施政方針について
	浜田市長 梨田 精	松村 寿夫	島根県婦人相談員 唐馬 スズヨ	中央公民館長 熊谷 泰治	浜田市長 大谷 久満
7 月	浜田地方民族信仰について	市内公共施設見学	老人の食事と健康について	正しい電話の扱い方	老人ボケについて
	佐々木 徳三郎	不明	浜田保健所栄養士 八壁 幸志	浜田電報電話局自動運用課長 下山 哲司	浜田国立病院医師 佐々木 清博
8 月	お年寄りの食生活について	故きを温ねて	人生の行方	講話 於周布公民館	浜田市郷土資料館について
	栄養士 長野 静子	上府神社宮司 牛尾 重文	前 真光寺住職 大原 義峰	聖徳寺住職 田原 重穂	郷土資料館館長 山口博三郎
9 月	大田市の歴史探訪旅行	同和問題について	交通安全と現地指導	国府あれこれ・ 市内施設見学	火災予防と救急法
	佐々木 徳三郎	浜田市教育委員会 宮田 金吾	浜田警察署交通課 中島 武司	県文化財専門委員 桑原 韶一	浜田消防署署長 山内 正勝
10 月	休講	休講	金城町民族資料館見学 講演 能海寛氏について	休講	休講
			郷土史家 順田正三		
11 月	生きるよろこび	自然の暮らし	休講	映画鑑賞	食生活と訪問販売の苦情事例について
	林 光博	善福寺住職 福郷 宗悦		故郷は心の中に& おじいちゃんの青春	北尾 リツ子 梶山 恵子
12 月	書と老人	国体参加と老人の役割	浜田退場～ 浜田藩から鶴田藩へ	世相あれこれ	映画鑑賞
	喜代吉 郊人	浜田市老人クラブ連合会 会長 渡辺 岩雄	郷土史家 佐々木 徳三郎	元中央公民館長 川上 理量	日本と韓国間の 海底ケーブル
1 月	浜田の開発について	映画鑑賞	映画鑑賞	差別について	目から鼻へ、ぬける
	浜田市助役 山口 博三郎	不明	老後を働く お年寄りとスポーツ	市社会教育課長 宮田 金吾	上府八幡宮宮司 牛尾 重文
2 月	ガン撲滅への歩み	書かれていない浜田	まことの心	私の七十の手習	浜田市の福祉行政
	成人病予防センター院長 岡本 英樹	山藤 忠	前、浜田市教員委員長 林 光博	東光会県支部長 山崎 修二	市福祉環境部長 高松 靖
3 月	浜田の福祉について	人生の生き方	老人保健法	閉講式のみ	共に生きよう、ふる里で
	浜田市社協会長 本田 行晴	浜田市社協会長 本田 行晴	市保健衛生課長 堀口 裕		浜田市社協事務局長 岡野 豊

昭和 60 年度

「昭和 60 年度施政方針について」 浜田市長 大谷久満 氏



在宅老人福祉施策の中核であった家庭奉仕員（現在のホームヘルパー）の派遣事業は、昭和 60 年度から家庭奉仕員間の連絡・指導・助言等を行う主任家庭奉仕員制度が創設されました。

昭和 61 年度

「斐川町 荒神谷遺跡見学」



昭和 59 年 358 本の銅劍、昭和 60 年には銅矛 16 本、銅鐸 6 個が発見!とされています。

昭和 63 年度

昭和 63 年度 第 4 回の城山大学
水害により 休講



7 月の集中豪雨では、7 月 20 日の夜から強い雨が降り始め、局地的な短時間集中豪雨となりました。浜田市市内でも床下・床上浸水被害が発生、城山大学も急遽、休講となりました。



昭和 60 年度～昭和 63 年度 城山大学 講座一覧

※ 講師の敬称は省略させていただいておりますこと、ご了承願います。

上段:演題

下段:講師

年度 月	昭和 60 年度	昭和 61 年度	昭和 62 年度	昭和 63 年度
4 月	昭和 60 年度施政方針について	昭和 61 年度施政方針について	昭和 62 年度施政方針について	昭和 63 年度施政方針について
	浜田市長 大谷 久満	浜田市長 大谷 久満	浜田市長 大谷 久満	浜田市長 大谷 久満
5 月	施設見学	映画鑑賞	映画鑑賞	目のお話と高齢者問題
	三隅町歴史民俗資料館他見学	他人の子をしかった私	60、70、花ならっぽみ他	松村眼科院長 松村寿夫
6 月	映画鑑賞	みんな如来	健康と病気の間	ボランティアの心
	アマミの森の動物 たち	須佐町、全柳寺 山本 康道	中村内科委員 中村 司	浜田市ボランティア協会会長 渡辺 岩雄
7 月	心とからだ	人生をより美しく	研修旅行	水害により休講
	市保健婦長 肥塚 由美子	社会教員指導員 小笠原 好助	八雲立つ風土記の丘	
8 月	浜田の歴史最近の発掘調査から	研修旅行	若さをとりもどそう	映画鑑賞
	県文化財保護指導委員 桑原 韶一	斐川町荒神谷遺跡	市保健婦長 肥塚 由美子	吉と助とふるさと
9 月	お年寄りのための交通安全教室	お年寄りの交通安全教室	お年寄りのための交通安全教室	研修旅行
	浜田警察署 交通課	浜田署交通課 秦 昭二	浜田警察署 交通課	益田市万葉公園他
10 月	休講	休講	休講	休講
11 月	衣類の知識	高齢者消費生活講座	高齢者消費生活講座	高齢者消費生活講座
	県消費者センター 石岡・花田・山崎	県消費者センター 北尾 リツ子	県消費者センター	県消費者センター 宮崎 新吾相談員
12 月	映画鑑賞	火災予防について	頭陀袋	火災予防について
	愛されるお年寄りに	市消防本部予防課 木鷺 係長	善福寺 福郷 宗悦	市消防本部 木島予防課長
1 月	高齢化社会と私たち	老人病を防ぐには	健全体操及びレクリエーション	映画鑑賞
	浜田市立中央公民館長 森岡 茂	市保健婦長 肥塚 由美子	浜田レクリエーション協会 湯浅他 3 名	寝たきりにならな いために他
2 月	これからの老人医療	福祉行政について	高齢者の求めるもの	浜田県政と佐藤信寛
	松村眼科院長 松村 寿夫	市福祉環境部長 高松 靖	中央公民館長 松本 博	中央公民館長 桑原 韶一
3 月	福祉のうけ手から福祉のない手へ	映画鑑賞	映画鑑賞	レクリエーション
	浜田市老人クラブ連合会会長 鍵本 古二郎	夢かぎりなく	この道はいつかくる道	浜田レクリエーション協会 湯浅他 3 名



昭和天皇の崩御に伴い、元号も「昭和」から「平成」に改められました。
国内外にも天地にも平和が達成されるという意味が込められています。

平成元年度

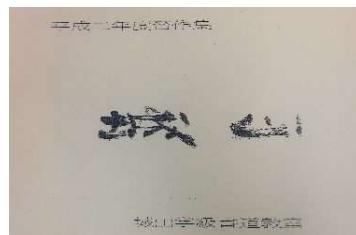
「平成元年度施政方針について」 浜田市長 大谷久満 氏

この年、城山学級書道教室では
10周年記念作品集を発刊されました。



平成2年度

この年、城山学級書道教室では
手作り作品集を発刊されました。



平成4年度

「浜田市21世紀への展望」 浜田市長 大谷久満 氏



平成元年度～平成5年度 城山大学 講座一覧

※ 講師の敬称は省略させていただいておりますこと、ご了承願います。

上段:演題

下段:講師

年度 月	平成元年度	平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度
4月	平成元年度施政方針について	平成2年度施政方針について	平成3年度施政方針について	浜田市21世紀への展望	浜田市21世紀への展望
	浜田市長 大谷 久満	浜田市長 大谷 久満	浜田市長 大谷 久満	浜田市長 大谷 久満	浜田市長 大谷 久満
5月	高齢者交通安全教室	映画鑑賞	研修旅行	おとしよりの栄養学	高齢者の交通安全
	浜田警察署 交通課	蘇った正倉院の紙、熟年の季節	仁摩町 砂博物館他	浜田地区栄養士会 長野 静子	浜田警察署交通係
6月	美しく老いる	みんなの偉のために	映画鑑賞	研修旅行	映画鑑賞
	岩田 アサオ	心覚院 法澤 邦彦	すてき坂、水からのメッセージ	出雲ドーム、伝承館他	男の値打ち、下町のおばあちゃん先生
7月	映画鑑賞	苦情相談の事例から	苦情相談の事例から	映画鑑賞	郷土の人物
	明日輝くために、 わが家はただいま362歳	県消費者センター 梶山 ケイ子	県消費者センター	杜子春、私たち老人 クラブの活動他	山崎 克彦
8月	新聞のできるまで	老いの豊かさ	老いについて	シルバーエイジ の健康学	ねたきりゼロ作戦
	山陰中央新報社 浜田総局長 尾添 弘志	山口県須佐町 全柳寺 山本 康道	心覚院 法澤 邦彦	国立浜田病院副院長 山崎 達輔	浜田保健所所長 岡田 尚久
9月	研修旅行	ふれあい社会の幸せがし	交通安全教室	軽体操とレクリエーション	研修旅行
	津和野町史跡見	盆子原志恵子	浜田警察署交通課	浜田レクリエーション協会 湯浅 恒子	石見空港
10月	休講	休講	休講	休講	休講
11月	高齢者消費生活講座	日中親善訪問報告	映画鑑賞	最近の相談事例から	映画鑑賞
	県消費者センター 所長 北尾 リツ子	浜田市社協副会長 山崎 亮	暑くなる地球、 未来へ	県消費者センター 林 義久	相手の身になって、 僕の熊おじさん
12月	高齢者の栄養学	研修旅行	火災予防について	ともに育つ心	カンボジア問題について
	島根県立石見高等看護学院講師 神崎 トモエ	広島 ガラスの里	浜田那賀消防組合予防課	心覚院 住職 法澤 邦彦	寺本 康俊
1月	映画鑑賞	火災予防について	レクリエーション	火災予防について	火災予防について
	趣味のある老後、 私達老人クラブの活動	浜田消防予防課 河村 憲治	浜田レクリエーション協会 湯浅 恒子	浜田那賀消防組合 河村 憲治	浜田那賀消防組合
2月	火災予防について	映画鑑賞	やさしい法律	祝祭日の祝い方	元気で長生きするために
	市消防本部予防課	風の色がみえた、 三世代家族	司法書士 間野 大司	春日神社宮司 牛尾 昭典	浜田市食改推進協 二木 千代子
3月	レクリエーション	リクリエーション	私の診療体験	心豊かに暮らす為に	日中友好交流について
	浜田レクリエーション協会 湯浅他2名	浜田レクリエーション協会 湯浅他2名	松村眼科院長 松村 寿夫	盆子原 志恵子	浜田市日中友好協会会长 山崎 亮

平成 8 年度

「浜田市総合福祉センター見学」



老人福祉センター機能を併設した総合福祉センター

平成 8 年度 音楽教室が新たに始まり、6 教室による高齢者の
趣味・生きがい活動が続けられました。



平成 9 年度

「浜田市 9 年度 施政方針」 浜田市長 宇津 徹男 氏



平成 9 年度、ちぎり 絵・手芸教室は、
ちぎり 絵教室と教室名を改め、引き続き 6 教室を実施。
また、この年、11 月 18 日には、城山大学受講生の佐々木和代さんから
浜田市にグランドピアノが寄贈されました。このピアノは総合福祉センター
に配置され、12 月より城山大学受講生の希望により、音楽教室に活用される
ようになりました。



平成 10 年度

この年、城山学級書道教室では
20 周年記念作品集を発刊されました。



平成 6 年度～平成 10 年度 城山大学 講座一覧

※ 講師の敬称は省略させていただいておりますこと、ご了承願います。

上段:演題

下段:講師

年度 月	平成 6 年度	平成 7 年度	平成 8 年度	平成 9 年度	平成 10 年度
4 月	浜田市 21 世紀への展望	浜田市 21 世紀への展望	施設見学	平成 9 年度施政方針	平成 10 年度施政方針
	浜田市長 大谷 久満	浜田市長 大谷 久満	浜田市総合福祉 センター	浜田市長 宇津 徹男	浜田市長 宇津 徹男
5 月	共に生きよう明るい社会	健康に生きるために	人生を輝いて生きるために	健康で長生きするには	寿命について
	野地 土栄 山中 守	浜田市社協ヘルパー 主幹主任小松原節子	県交通安全教育講師団 盆子原 志恵子	浜田保健所所長 中川 昭生	市老人クラブ連合会 会長 渡辺岩雄
6 月	少年非行と家庭の役割	自分のからだは自分で守ろう	平成 8 年度施政方針	毛利氏（吉川氏）と浜田	老いを健やかに
	浜田警察署 宮本課長・吉田警部補	国立浜田病院院長 山崎 達輔	浜田市長 宇津 徹男	浜田市文化財審議会委員 桑原 韶一	訪問看護ステーション浜田 管理者 松下真理
7 月	地域でシルバーの役割	長寿の秘訣	上映会	幸せですか…今	上映会
	いわみ福祉会理事長 室崎 富恵	浜田市栄養士会会长 長野 静子	もっと身近に法律相談他	県交通安全教育講師団 盆子原 志恵子	不明
8 月	研修旅行	楽しくレクリエーション	仏さまのラブレター	施設見学	高齢者の健康管理について
	松江にて、大阪府との 世代間交流会に参加	浜田レクリエーション協会会長 橋本 英樹	光西寺住職 縞川 聖士	古代出雲文化展 県立博物館古代博	浜田健康福祉センター 医事難病係 村下医長
9 月	美しく老いる	研修旅行	施設見学	上映会	施設見学
	仏教婦人会本部 岩田 アサオ	萩市 松陰神社他	三隅町火力発電所	一緒に考えよう! お年寄りの財産管理	風の国・水の国
10 月	休講	休講	休講	休講	休講
11 月	豊かな長寿社会を県民の集い	浜田に住んで	高齢者の交通事故防止について	美しく老いる	レクリエーション
	石央文化ホール 講演会参加	県立国際短大研究生 孫 紅	浜田警察署交通課 前田 敬三	岩田 アサオ	浜田レクリエーション協会会長 橋本 英樹
12 月	火災予防について	生きること、支え合うこと	高齢者と防火	火災から命を守る	高齢者を住宅火災からための施策
	浜田那賀消防組合課	西川病院看護婦 山根 優子	浜田那賀消防組合 予防係長 佐々木浩次	浜田那賀消防組合予防課 係長 杉浦 裕正	浜田那賀消防組合予防課 係長 杉浦 裕正
1 月	浜田市の老人福祉について	火災予防について	レクリエーション	レクリエーション	大江戸八百屋町ばな史
	市いきいき福祉課課長 橋ヶ迫 操子	浜田那賀消防組合予防課	浜田レクリエーション協会会長 橋本 英樹	浜田レクリエーション協会会長 橋本 英樹	江戸研究科 中村 好昭
2 月	地域で支える安心した暮らし	いきいきと過ごすために	たすけあいについて	健康な食事と生活習慣	上映会
	県浜田健康福祉センター 梶谷 恵子	国立浜田病院 林 里子・宮本明子	浜田市社協 事務局長 千田 登實	市いきいき福祉課 係長 肥塚 由美子	不明
3 月	閉講式のみ	行政相談とは	病気に負けない人生を送るには	介護保険の仕組みについて	リハビリテーションについて
		岡野 豊・新谷光雄	市いきいき福祉課 係長 肥塚 由美子	市いきいき福祉課課長 宅間 雅照	国立浜田病院主任理学療法士 宇田山 俊子

平成 11 年度

平成 11 年度、民謡踊り 教室は、
舞踊教室と教室名を改め、園芸教室・音楽教室・書道教室・ちぎり 絵教室・
陶芸教室の 6 教室が令和 3 年現在も生きがい活動の場として実施しています。

平成 13 年度

「中国の文化について」 市地域政策課 国際交流員 馮平氏

万里の長城や故宮などの歴史文化について、ビデオを交えながら講演を聴講しました。また、親子の絆が強い国であることも感じる講演内容でした。



「施設見学～松江・出雲～」



松江フォーゲルパークにて鳥と花の観賞

貸し切りバス車内で、ビデオによる福祉講演会を聞きながら、松江・出雲方面へ施設見学に行きました。

平成 11 年度～平成 15 年度 城山大学 講座一覧

※ 講師の敬称は省略させていただいておりますこと、ご了承願います。

上段:演題

下段:講師

年度 月	平成 11 年度	平成 12 年度	平成 13 年度	平成 14 年度	平成 15 年度
4 月	平成 11 年度施政方針				
	浜田市長 宇津 徹男				
5 月	あるがままに、あたりまえに	浜田市の施政方針について	浜田市の施政方針について	浜田市の施策方針について	浜田市の施策方針について
	いわみ福祉会 理事長 室崎富恵	浜田市助役 坂平 弘昭		市総務部長 小川 明夫	市総務部長 小川 明夫
6 月	やさしい相続と境界紛争の予防策	施設見学		地殻の動きから見た浜田 地方の興味ある地層	共に生きる
	司法書士 大田 藤隆	いわみーる、アクアス		島根県地学会 会長 桑田龍三	仏教婦人会 岩田アサオ
7 月	今、福祉に問われること		中国の文化について	私の世界・私の日本 －異文化を考える－	中日文化の比較について
	心覚院 法澤 邦彦		浜田市国際交流員 馮 平	浜田市国際交流員 サラ・チュウ	浜田市国際交流員 呉 頴
8 月	日々の歩みから		高齢者と耳の機能について	みんなで考える福祉	海と魚のはなし
	浜田警察署東交番 相談員 井上 民		リハビリテーションカレッジ 島根 長富 由美子	心覚院 法澤 邦彦	島根県水産試験場漁場開発科長 森脇 晋平
9 月	施設見学		こども美術館見学と講演	高齢者の食生活について	生活習慣病を予防する ための食事について
	不明		館長 寺尾 堂	やすらぎの郷栄養管理士 小原 まり子	市管理栄養士 宮木千鶴子 市保健師 蒼井智美・大崎瑞生
10 月	休講	休講	休講	休講	休講
11 月	中国の文化について	中国の文化、経済について	施設見学	施設見学	施設見学
	浜田市国際交流員 王 文安	浜田市国際交流員 馮 平	松江・出雲 松江フォーゲルパーク他	津和野町 安野光雅美術館他	県立美術館 NHK 松江放送局
12 月	なぜ浜田市長浜町産出の黄長石霞石 玄武岩は天然記念物となっているのか	大麻山の石ごうろ	ゴミとリサイクルについて	火災から命を守るために	レクリエーション
	島根県地学会副会長 桑田 龍三	島根県地学会 桑田 龍三	市環境課 佐々木 秀樹	浜田地区消防本部予防課 田原英治・江川崇之	浜田レクリエーション協会会長 橋本 英樹
1 月	レクリエーション	レクリエーション	レクリエーション	レクリエーション	浜田城について
	浜田レクリエーション協会会長 橋本 英樹	浜田レクリエーション協会会長 橋本 英樹	浜田レクリエーション協会会長 橋本 英樹	浜田レクリエーション協会会長 橋本 英樹	市教育委員会文化振興課文化財係 主任主事 原裕司
2 月	消費者問題について		火災予防について	高齢者のための健康づくり	映像で残す郷土の歴史
	島根県消費者センター		浜田地区消防本部	市高齢者健康指導員 保健師 肥塚 由美子	浜田地区広域行政組合視聴覚ライブリー 主幹 檜垣友孝
3 月	在宅福祉サービスの現状		地域福祉について	市議会傍聴見学	新しいゴミ袋について
	浜田市社協 事務局長 佐藤 正蔵		浜田市社協事務局長 川崎 功二		市環境課清掃対策係主任乗務員 森岡 薫・山本 雅樹

平成 16 年度

「浜田市最古の石、宇野町 大尾谷の泥質片岩」
島根県地学会 会長 桑田 龍三 氏



平成 17 年度



開講式 宇津名名誉学長祝辞

平成 18 年度



閉講式 記念撮影

平成 19 年度



研修旅行 大和ミュージアムにて

平成 20 年度



研修旅行 水木しげる記念館にて

平成 16 年度～平成 20 年度 城山大学 講座一覧

※ 講師の敬称は省略させていただいておりますこと、ご了承願います。

上段:演題

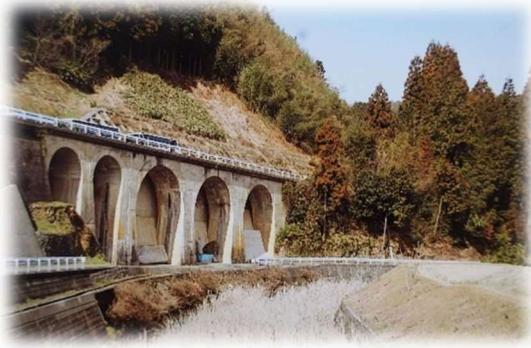
下段:講師

年度 月	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
4 月					
5 月	浜田市の施策方針について	浜田市の施策方針について	浜田市の施策方針について	浜田市の施策方針について	浜田市の施策方針について
	市総務部長 岡田 昭二	市総務部長 岡田 昭二	市総務部長 岡田 昭二	市総務部長 岡田 昭二	市総務部長 岡田 昭二
6 月	健康ってどんなこと	畠ヶ浦の成因の諸説	太陽観察と夏の星座	ふれあい社会の実現	黄長石霞石玄武岩について
	市高齢者健康指導員 保健師 肥塚 由美子	島根県地学会 会長 桑田龍三	島根県地学会 会長 桑田龍三	浜田市高齢者クラブ連合会 長尾 康一	島根県地学会 会長 桑田龍三
7 月	浜田市最古の石、宇野町 大尾谷の泥質片岩	健康に暮らすためのポイント	美しく老いる	石見畠ヶ浦について	ペン習字について
	島根県地学会 会長 桑田龍三	市高齢者健康指導員 保健師 肥塚由美子	仏教婦人会 岩田アサオ	島根県地学会 会長 桑田龍三	島根書道会会員 原井 和江
8 月	銀山探訪歌巡り	島村抱月の仕事	青少年と高齢者のかかわりについて	心あたたまる歌を唄いましょう	浜田の観光・文化を観る
	大場 志郎	石央文化ホール 顧問 岩町 功	青少年サポートはまだ相談員 浜田こども安全センター職員	城山学級音楽教室 講師 津茂谷和美	浜田市観光ボラガイドの会 会長 齊藤晴子 浜田石見神楽社中連絡協議会 会長 上岡直晴
9 月	三瓶火山と埋没林	健康のための食生活について	健康に過ごすためのポイント	健康に過ごすための ポイントパート II	アメリカ合衆国の多様な 社会構造とその変化
	県立三瓶自然館学芸 1 課 課長 福岡 孝	管理栄養士 宮木千鶴子	市高齢者指導員 保健師 肥塚由美子	市高齢者指導員 保健師 肥塚由美子	浜田市国際交流員 エヴァン・アンダーソン
10 月	休講	施設見学広島	施設見学	休講	休講
		広島平和記念公園他	松江フォーゲルパーク他		
11 月	施設見学	休講	休講	研修旅行	研修旅行
	大田市・仁摩町 三瓶小豆埋没林公園他			大和ミュージアム他	水木しげる記念館他
12 月	最近の消費者問題とその対策法	浜田の歴史寸描 浜田に 残る甲冑を中心として	応急手当の方法について	悪質商法等からの 被害防止について	書の心
	県消費者センター消費生活相談員 高橋 和男	浜田市文化協会 会長 桑原韶一	浜田市消防本部救急救助係長 河上 晴夫	生活安全係 係長 野上博文	城山学級書道教室 講師 森 須園
1 月	歌って楽しく遊びましょう	歌って笑って遊びましょう	歌って笑って健康づくり	歌って笑って健康づくり	歌って笑って健康づくり
	浜田レクリエーション協会会長 橋本 英樹	浜田レクリエーション協会会長 橋本 英樹	浜田レクリエーション協会会長 橋本 英樹	浜田レクリエーション協会会長 橋本 英樹	浜田レクリエーション協会会長 橋本 英樹
2 月	高齢者の事故防止	介護保険の見直しと 保険料について	生活習慣病を予防 するための食生活	韓国のことをもっと 知ってみませんか	健康づくりの一つの方法
	浜田警察署交通課 課長 河瀬友治	浜田地区広域行政組合介護保険課 課長 河内守正	管理栄養士 宮木千鶴子	浜田市国際交流員 金 穂原	市高齢者指導員 保健師 肥塚由美子
3 月	救急業務の現状と救急車の利用について	となりの韓国	安心して歳をとるために	任意後見契約と遺言の概要	裁判員制度について
	浜田消防署救急係長 河上 晴夫	浜田市国際交流員 李 チャマ	市社協権利擁護事業 専門員 稲垣正弘	浜田公証役場 廣津 隆久	法テラス弁護士 片岡 昌樹

平成 21 年度

「広浜鉄道 今福線 の歴史と遺構」

派遣社会教育主事 石橋 孝彦 氏



平成 24 年度

「こころの健康」 浜田保健所健康増進グループ

課長 天野和子 氏 保健師 中永秋奈 氏



閉講式 記念撮影

平成 25 年度

平成25年度城山大学閉講式



閉講式 記念撮影

平成 21 年度～平成 25 年度 城山大学 講座一覧

※ 講師の敬称は省略させていただいておりますこと、ご了承願います。

上段:演題

下段:講師

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
4月					
5月	浜田市の施策方針について 市総務部長 稲葉 裕男	今年の浜田市について 市副市長 大谷 克雄	今年の浜田市について 市副市長 大谷 克雄	今年の浜田市について 市総務部長 牛尾 祐治	今年の浜田市について 市副市長 大谷 克雄
6月	自然災害について 島根県地学会 会長 桑田龍三	天気予報の基本と 石見地方の気象 島根県地学会 会長 桑田龍三	高齢者の暮らしと諸制度 市高齢者包括支援係主任主事 竹本弘子	チャンジ絵手紙 絵手紙講師 新家 義仁	園芸教室 市社協サロンコーディネーター 楳野 純子
7月	中国のシルクロードと 幻の西夏王国へようこそ 浜田市国際交流員 宋 潔	石見で出会った人々 柿本人麻呂・石本正 司馬遼太郎・三浦義武 浜田市国際交流員 神 英雄	犯罪被害にあわないために	浜田市出前講座 浜田市の防災・高齢者の交通事故防止他 市防災安全係 大驛係長・野津専門企画員	高齢者サロンのすすめ 市社協サロンコーディネーター 楳野 純子
8月	火災予防について 浜田市消防本部	文化のるつぼ アメリカ 習慣・行事・食文化について 浜田市国際交流員 カレン・サイトウ	体力測定	享保時代の浜田 市誌編纂室 鍵本 俊朗	体力測定 浜田市高齢者クラブ連合会
9月	広浜鉄道「今福線」の歴史と遺構 派遣社会教育主事 石橋 孝彦	盲導犬の育成と 受入れについて 日本盲導犬協会 島根あさひ訓練センター	中国の生活・行事について 浜田市国際協力員 高 建軍	介護保険あれこれ 浜田地区広域行政介護保険課 課長 大賀安彦	認知症サポーター 養成講座 キャラバンメイト 下田 真輝子
10月	研修旅行 秋吉台サファリランド他	研修旅行 金子みすゞ記念館他	高齢者に多い病気・心の健康 市地域医療対策課健康推進係 係長 湯浅百合恵	研修旅行 松江フォーゲルパーク他	研修旅行 島根あさひ社会復帰センター他
11月	休講	休講	雪舟等楊について	こころの健康	韓国のあれこれ
			浜田市文化協会 会長 遠藤公輝	浜田保健所健康増進グループ 天野課長、中永保健師	浜田市国際交流員 金 恩志
12月	健康づくりは体力づくり 市高齢者指導員 保健師 肥塚由美子	高齢者が災害で 気をつけること 赤十字健康生活支援講習指導員 看護師 増野紀子	高齢者のための 健康料理について 浜田市食改推進協 田子ヨシエ、下間董	ロコモティブシンド ローム対策の運動 マットサイエンスインストラクター 善田 瞳美	あいサポート運動 に参加しよう 市社協地域福祉課課長 服部 浩明
1月	歌って笑って健康づくり 浜田レクリエーション協会会长 橋本 英樹	歌って笑って健康づくり 浜田レクリエーション協会会长 橋本 英樹	浜田市のサロン活動の 紹介と介護予防教室 市社協サロンコーディネーター 楳野 純子	アメリカの生活 ・行事について 浜田市国際交流員 ドナルド・マルヤマ	心肺蘇生法と AED の使用について 浜田消防本部
2月	高齢者のための健康 料理について 浜田市食改推進協	書と少し変わった平常心 五風会会長 喜代吉 鐵牛	法律講座 遺言書の書き方について他 法テラス 弁護士 南 秀樹	チャレンジ囲碁 囲碁の楽しみ方 城山囲碁大会副審判長 富金原 伸夫	災害非常食炊出し の体験 赤十字防災ボラ浜田地区 リーダー 寺井一博
3月	休講	転倒予防について 市社協サロンコーディネーター 楳野 純子	日常生活自立支援事業について 市社協権利擁護事業 専門員 植田千鶴	介護予防教室認知症は恐くない 市社協サロンコーディネーター 楳野 純子	成年後見制度における法人後見事業 市社協地域福祉課 濱崎 恵

平成 27 年度

「浜田藩主と驛鈴」

浜田観光ボランティアの会 会長 斎藤 晴子 氏



「今年の浜田市」

浜田市長 久保田 章市 氏



元気な浜田づくり
浜田市の課題と取り組みについて
講話いただきました。



「イギリスとイギリスの文化」

浜田市国際交流員 キンバリー・モーガン 氏

他国文化についても、国際交流員の方と交流することで知識を深めています。

平成 30 年度



平成 26 年度～平成 30 年度 城山大学 講座一覧

※ 講師の敬称は省略させていただいておりますこと、ご了承願います。

上段:演題

下段:講師

年度 月	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
4 月					
5 月	今年の浜田市について 浜田市長 久保田 章市	困ったときでもも～あんしん 社協の中の相談事業 市社協生活相談係長 向原 仙子	浜田の歴史 開府 400 年に向けて 浜田市長 久保田 章市	浜田の歴史開府 400 年に向けて ～浜田発展の歴史と現在、未来 浜田市長 久保田 章市	高齢者の福祉サービス 市健康福祉部健康長寿課 高齢者福祉係長 松田伸介 地域包括ケア推進係 山藤志途惠
6 月	電子紙芝居 シニアネット浜田	災害に備えて 日赤島根県支部 総務課長 澤田和憲	マイナンバー制度について 市総務部情報政策課長 斗光 秀基	絵手紙で暑中見舞を書こう 日本絵手紙協会公認講師 野海 ちづる	開府 400 年に向けて 浜田市長 久保田 章市
7 月	赤十字健康生活支援講習会 日本赤十字社島根県支部 益田赤十字病院看護師	浜田藩主と驛鈴 浜田市観光ボランティアの会 会長 斎藤晴子	振り込め詐欺対策 浜田警察署生活安全課 係長 大場庸司	わしゃ～大丈夫? (交通安全について)他 シニアネットはまだ電子紙芝居部 長尾・佐藤・三上 ・栗山・尾崎	司馬遼太郎さんと石見人 岩町 功
8 月	交通事故と詐欺の防止 生活安全課生活安全係 交通課交通総務係	今年の浜田市 浜田市長 久保田章市	浜田保安庁の業務について 浜田海上保安部 警備救護課長 中根正信 交通課長 上村公一	こちら防災浜田市です 佐々木 満	健康・認知症予防について 市健康福祉部健康長寿課 地域包括ケア推進係 木下勝範
9 月	ロコモティブシンド ローム対策の運動 マットサイエンスインストラクター 善田 瞳美	イギリスとイギリスの文化 浜田市国際交流員 キンバリー・モーガン	現在のベトナムの姿 浜田市国際交流員 ニュン グエン	最近のトラブル事例 とその対策について 県消費者センター 消費生活相談員 佐々木康江	折り紙は楽しく 伊藤 裕子
10 月	研修旅行 古代出雲歴史博物館他	研修旅行 三隅町石州和紙会館他	研修旅行 三隅町火力発電所他	研修旅行 松江城 堀川遊覧	研修旅行 三次市辻村寿三郎人形館他
11 月	絵手紙で年賀状を書こう 日本絵手紙協会公認講師 野海 ちづる	絵手紙で年賀状を書こう 日本絵手紙協会公認講師 野海 ちづる	絵手紙で年賀状を書こう 日本絵手紙協会公認講師 野海 ちづる	能海の目指した世界平和 不惜生命の生き方 能海寛研究会事務局長 隅田 正三	浜田市防災出前講座 浜田市の防災 浜田市防災安全係 松島 芳弘
12 月	浜田市の防災 市安全安心推進課 防災安全係	ゲームで健康作り 市社協サロンコーディネーター 楳野 純子	サロンで活用 回想法 市社協サロンコーディネーター 楳野 純子	歌って元気 笑って健康 レクリエーション協会 会長 橋本英樹	歌でつづる僕の青春時代 くもぎの玉ちゃん KBO66 会長 玉置龍一
1 月	サロンのすすめ 市社協サロンコーディネーター 楳野 純子	人権について 市教育委員会人権同和教育室 指導主事 森下孝生	口腔のケアについて 歯科衛生士 河内 紀美恵	アメリカ人からの観点 本当のアメリカとは…? 浜田市国際交流員 バメラ・スリヤチャイ	豊かな文化が薫る国—中国 浜田市国際交流員 于 清
2 月	高齢者の健康料理 浜田市食改推進協	相続と遺言 浜田公証役場 公証人 菊間 徹	高齢者の健康料理について 浜田市食改推進協 宮本・田子・小池・内田	音楽で楽しく健康に 療養音楽セッションリーダー 徳田 洋子	高齢者の低栄養予防 おいしく食事をしましょう 浜田市食改推進協 宮本・田子・小池・出店
3 月	中国の生活文化について 浜田市国際協力員 王 恒	成年後見制度について 法テラス浜田法律事務所 常勤弁護士 今西淳浩	浜田の偉人伝 シニアネット浜田電子紙芝居部 佐藤・尾崎・佐々木・朱山	安心して暮らせるまちへ 社協が目指すところ 市社協介護福祉課長 芹原 克博	安心して暮らせるまちへ 社協が目指すところ 市社協地域福祉課長 三浦 聖二



平成天皇の退位に伴い、2019年5月1日、元号も「平成」から「令和」に改元されました。

万葉集にある歌の序文

「初春の令月にして、氣淑く風和らぎ、梅は
鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薰らす」

の二文字からとられており、人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つという意味が込められています。

(典拠は、日本現存最古の歌集「万葉集」)



令和元年度

「浜田開府400年について」 浜田市長 久保田 章市 氏



わが町の文化を知り伝承していく。そこに見えるのは、人と人、人と地域がつながっていく素敵なまちづくりの姿が。

令和2年度

「浜田開府400年祭を振り返って」 浜田市長 久保田 章市 氏



日本遺産 北前船寄港地 外ノ浦港
についても講話をいただきました。

令和元年度～令和2年度 城山大学 講座一覧

※ 講師の敬称は省略させていただいておりますこと、ご了承願います。

上段:演題

下段:講師

年度 月	令和元年度	令和2年度
4月		
5月	浜田開府 400年について 浜田市長 久保田 章市	休講
	振り込め詐欺被害防止 寸劇・歌・交通安全について 浜田警察署駅前交番所長 大賀 寿紀 巡查長 矢野正己	休講
6月	浜田藩と津和野藩とのつながり 市誌編纂室 鍵本 俊朗	浜田開府400年祭を振り返って 浜田市長 久保田 章市
	高齢期の食生活について 今日から始める低栄養予防 市健康医療対策課健康づくり係 主任栄養士 大弥育子	周布氏と益田氏について 浜田市教育委員会文化振興課 文化財係 主事 小松真人
7月	季節を感じて絵手紙を描く 日本絵手紙協会公認講師 野海 ちづる	浜田市防災出前講座 浜田市の防災 市防災安全課防災安全係 渡邊 敏明
	研修旅行 西伯群 とっとり花回廊	三浦義武の生涯とその功績 岩町 功
8月	終活のためのエンディングノート 金融広報アドバイザー 細川 豪	地域で支える認知症 日本赤十字社島根県支部 健康生活支援講習指導員 石田好枝・大庭寿美枝
	笑って脳トレ認知症予防 レクリエーション協会 事務局長 岩本冷子	日本遺産 北前船寄港地 外ノ浦港 郷土史家 梶ヶ瀬 孝
9月	ベトナム 年末年始の雰囲気 浜田市国際交流員 ドアン クイン	インディアナ州の旅 浜田市国際交流員 ジョアンナ ディクソン
	非常食炊出し訓練 市社協地域福祉課 主任主事 寺井一博	ゆるやかな見守りを広げよう 市社協地域福祉課 係長 田邨真紀夫 生活支援コーディネーター
10月	休講	コロナ禍の中でつながる 島根県浜田保健所 所長 村下 伯
11月		
12月		
1月		
2月		
3月		



わが町「はまだ」について城山大学では沢山の歴史について、学ぶことが出来ています。



マスク着用



換気



手洗い

新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、令和2年3月より6月まで休講しました。



密集回避



密閉回避



密接回避

休講後、6月からは、3密回避対策他、あらゆる対策をしながら、城山大学を開催することが出来ています。

この今も闘っている
医療現場のためにも。



昭和 45 年 7 月「浜田市老人実態調査より」

- * 浜田市総世帯数 14, 549 世帯
- * 浜田市総人口 49, 380 名
- * 老人（高齢者）人口 4, 566 名 9.2 %
(65 才以上) (全国平均 7.1 %)
- * 独居老人 520 名

平成 17 年 9 月 30 日合併



1 市 4 町村後

平成 17 年 10 月 浜田市統計情報より

- * 浜田市総世帯数 25, 023 世帯
- * 浜田市総人口 63, 046 名
- * 高齢者人口 18, 061 名 28.6 %
(65 才以上) (全国平均 20.1 %)

令和 3 年 4 月 浜田市統計情報より

- * 浜田市総世帯数 26, 140 世帯
- * 浜田市総人口 52, 145 名
- * 高齢者人口 19, 454 名
37.31 %
(65 才以上) (全国平均 28.7 %)

城山大学 歴代名誉学長及び学長

年度	名誉学長 (浜田市長)	学 長 (社協会長)	年度	名誉学長 (浜田市長)	学 長 (社協会長)
昭和 45 年度	宇津 重明	山崎 慧	平成 8 年度	大谷 久満 宇津 徹男	山崎 亮
昭和 46 年度	宇津 重明	山崎 慧	平成 9 年度	宇津 徹男	山崎 亮 福重 照正
昭和 47 年度	梨田 精	山崎 慧	平成 10 年度	宇津 徹男	福重 照正
昭和 48 年度	梨田 精	山崎 慧	平成 11 年度	宇津 徹男	福重 照正
昭和 49 年度	梨田 精	山崎 慧	平成 12 年度	宇津 徹男	福重 照正
昭和 50 年度	梨田 精	山崎 慧	平成 13 年度	宇津 徹男	福重 照正
昭和 51 年度	梨田 精	山崎 慧 本田 行晴	平成 14 年度	宇津 徹男	福重 照正
昭和 52 年度	梨田 精	本田 行晴	平成 15 年度	宇津 徹男	福重 照正
昭和 53 年度	梨田 精	本田 行晴	平成 16 年度	宇津 徹男	福重 照正
昭和 54 年度	梨田 精	本田 行晴	平成 17 年度	宇津 徹男	福重 照正
昭和 55 年度	梨田 精	本田 行晴	平成 18 年度	宇津 徹男	福重 照正
昭和 56 年度	梨田 精	本田 行晴	平成 19 年度	宇津 徹男	福重 照正 小谷 典弘
昭和 57 年度	梨田 精	本田 行晴 小川 博之	平成 20 年度	宇津 徹男	小谷 典弘
昭和 58 年度	梨田 精	小川 博之	平成 21 年度	宇津 徹男	小谷 典弘
昭和 59 年度	梨田 精 大谷 久満	小川 博之	平成 22 年度	宇津 徹男	小谷 典弘
昭和 60 年度	大谷 久満	小川 博之	平成 23 年度	宇津 徹男	小谷 典弘
昭和 61 年度	大谷 久満	小川 博之	平成 24 年度	宇津 徹男	小谷 典弘
昭和 62 年度	大谷 久満	小川 博之	平成 25 年度	宇津 徹男 久保田章市	小谷 典弘
昭和 63 年度	大谷 久満	小川 博之 志波清次郎	平成 26 年度	久保田章市	大谷 克雄
平成元年度	大谷 久満	志波清次郎	平成 27 年度	久保田章市	大谷 克雄
平成 2 年度	大谷 久満	志波清次郎	平成 28 年度	久保田章市	大谷 克雄
平成 3 年度	大谷 久満	志波清次郎	平成 29 年度	久保田章市	大谷 克雄
平成 4 年度	大谷 久満	志波清次郎	平成 30 年度	久保田章市	大谷 克雄
平成 5 年度	大谷 久満	志波清次郎	令和元年度	久保田章市	大谷 克雄
平成 6 年度	大谷 久満	志波清次郎 山崎 亮	令和 2 年度	久保田章市	大谷 克雄
平成 7 年度	大谷 久満	山崎 亮			

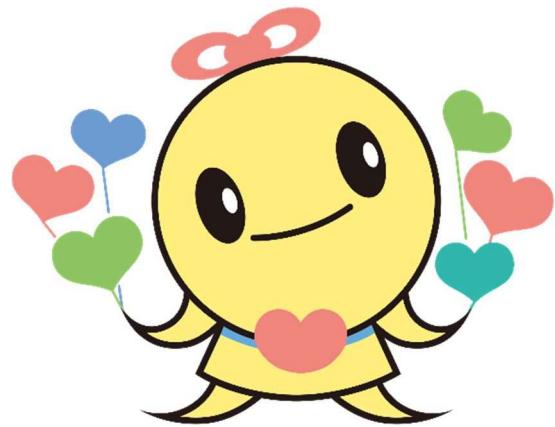
発刊 令和3年 3月

発行 令和3年 12月

社会福祉法人 浜田市社会福祉協議会

〒697-0016 浜田市野原町 859-1

TEL (0855) 22-0094 FAX (0855) 22-6930



浜田市社協PRキャラクター
ふくッピー